

反帝統一戦線の戦線の下総への前進に向けて 反帝共闘の前進に向けて

学友諸君は、更なる

学生同盟日大支部
社会主義者

すべし

1948年朝日新聞以来の朝日新聞は、中々新しき新聞となり、8000年
日大ニ學大を申しとした毎日朝日新聞は、全編加入制の本紙のみの
自派の専断から、組織をこれと異なり、を内定した共闘新聞として高橋
朝日新聞がえ、1949年の東大自由記者の斗から、これに呼応して神由
カヒコエラタの斗に力をつけて、新しき本紙の共闘新聞は、大卒に
よって進歩的の共闘新聞の専断支配を道義として大卒にとり、正統化、
の専断に、大卒新聞に力をつけて専断を破つたのである。
1948年朝日新聞の専断として、共闘新聞の専断を破つた二つの新聞スト
は、三行を破つたことにも、て、安保ニ反革命同盟再編、その第一歩、「
基地」の共闘新聞の専断として、「解雇」攻撃に立ち上った。戦后
分断専断ニ専断支配ニ基地植民地支配の苦難の途を歩んだ共闘の「即
時無条件全面返還」ニ本土復帰に夢を託した運動が、アメリカ人民の英
雄的斗いに鼓舞され「反帝復帰」として2年返還ニ85年日本共同声明
が、朝鮮する日本帝国主义のアメリカ軍事的、カチメとして鮮明化さ
れるに従って、反帝復帰の内実が「復帰地」を併呑、解体させて、現
地共闘の斗かりを基地併呑者を中心として「基地撤去、日本帝国主义
打倒」に強化してこられることである。おまに共闘の年安保の
「三連斗争」以上の関係がある。日本帝国主义はアメリカ帝国主义の
軍事的、政治的な専断支配を支持し自らの経済的進出をはかり、そ
の専断は「帝国主义専断」の一翼を担って来たのである。そ
してその「帝国主义」として、おまにの行爲が行なわれたか
ら、いつにとも、国内における階級社会を「経済繁栄」のメロ
カンのもとに維持状態にあたり、戦後民主主義ニ平和と民主主義支配
の専断の条件を維持して来たのである。象を返せば、日本の口
のメロカンは「平和と民主主義」という理想を掲げて「共闘」を犠
牲に、又「アメリカ人民」の流血を保証として、自らの生活維持向上を
め、来たといふことである。共闘専断二十有余年の史を語るに
て、おまに。今も「平和と民主主義の防衛」から共闘を考ふる輩
(共闘)は「平和を信じて」といふ世界の二十有余年を植民地人民の血
を流して来たといふことである。現存を平和な時代といふものは